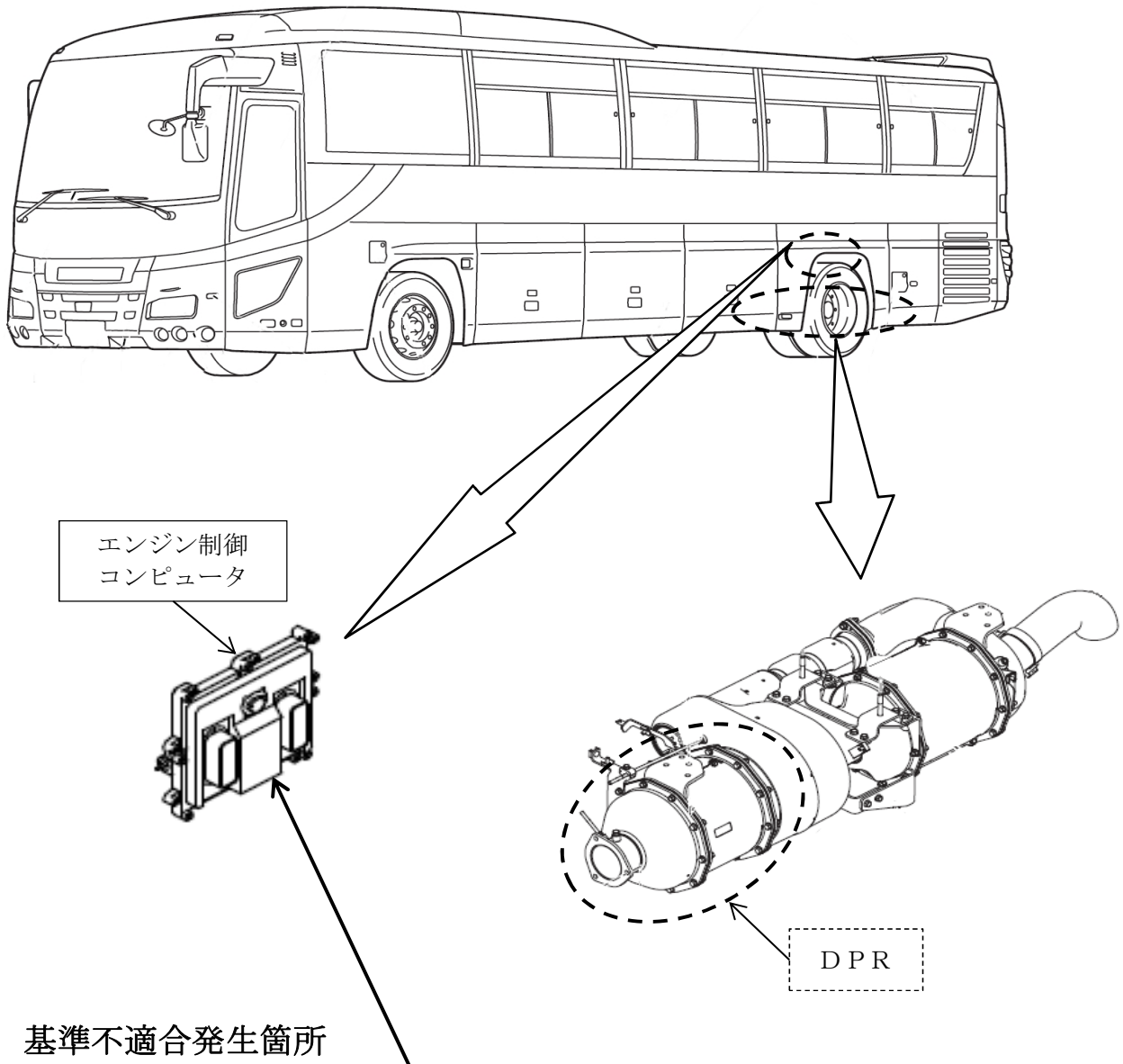


改善箇所説明図





大型バスにおいて、エンジン制御コンピュータのプログラムが不適切なため、加速時に一酸化炭素の排出量が保安基準の基準値を超える。さらに、黒煙排出量が増加することがあり、そのため、DPR（ディーゼル微粒子除去装置）にPM（粒子状物質）が詰まりエンジン警告灯が点灯し、DPRが損傷するおそれがある。

改善の内容：

全車両、エンジン制御コンピュータのプログラムを書き換えるとともに、DPR（ディーゼル微粒子除去装置）を点検し、損傷している場合は新品に交換する。

識別：改善済車両にはネームプレートに白色ペイントを塗布する。

注：  は制御プログラムを書き換える部品を示す。

注：  は必要に応じて交換する部品を示す。